

会 議 記 録

次の審議会（協議会）を下記のとおり開催したので報告します。

審議会等名称	平成29年度第1回 社会教育委員・公民館運営審議会委員 会議		
開催日時	平成29年6月29日（木）10:00～12:00		
開催場所	西別館2階第6会議室		
出席者 会長◎ 副会長○	<社会教育委員> ◎大橋委員 楠亀委員 佐藤委員 随井委員 村地委員 福井委員 橋委員 万野委員 矢倉委員 吉井委員 中野委員 三木委員 城念委員 重野委員 <説明者・事務局> (挨拶) 日岡教育長 (説明者) 小林教育部長 明石生涯学習課長 森村生涯スポーツ課長 奥村図書館長 佐竹文化観光課長 (事務局) 山崎生涯学習課課長補佐 岡田生涯学習課副主幹		
次回開催予定日	未定		
問い合わせ先	所属名・担当者名： 近江八幡市教育委員会事務局生涯学習課 岡田 電話番号：0748-36-5533 Fax番号：0748-36-5565 メールアドレス： 045000@city.omihachiman.lg.jp		
会議記録	発言記録・ 要 約	要約した理由	・内容が整理され、記録として残すことに適しているため

	<p>1. 開会</p> <p>(1) 教育長あいさつ</p> <p>(2) 委員長あいさつ</p> <p>(3) 自己紹介</p> <p>2. 各役員について確認</p>
事務局	出席者の確認 → 議事を交替 (議長の委員長による議事進行)
委員長	3. (1) 平成29年度教育行政基本方針並びに重点施策について(報告)
各担当部署	《平成29年度教育行政基本方針並びに重点施策について説明》
委員長	説明について意見・質問を求める。
委員	・教育行政基本方針及び重点施策中に「人権」という文言がない。教育大綱策定の時もそうであったが、市の方針なのかお聞かせいただきたい。
教育長	・教育大綱を策定する折に「人権」という文言がないことについて気になっていたのは事実である。「人権」はあえてするのではなくて、すべての事業の中に含まれていると位置づけている。市民の中には、「人権」についての表記をするべきだという意見もあるので、教育大綱の期間3年後に見直しをし、教育振興基本計画も教育大綱と整合性を合わすという形で見直しを検討していきたい。
委員	<p>・各施策に人権という文字がなくても、例えば自尊感情という言葉が出ましたが、それは人権のひとつ、大事なものだと考える。そうであれば基本方針に入れてほしいと思うので、まずは教育大綱からということで検討願いたい。</p> <p>・昨年の4月に障害者差別解消法が成立したが、それを受けての取組は行われたのかお聞かせいただきたい。</p>
生涯学習課長	・市では障害者差別解消法の成立を受けて、対応要領を策定し職員研修も実施された。学校の教職員についても周知徹底を図っている。
委員	<p>・この法律は合理的配慮をいかにしていくか。学校でいうと先生、市でいうと職員の資質が大事になるので、研修を1回限りではなくて続けてほしい。</p> <p>・家庭教育支援事業ですが、以前に幼稚園では実施しないのかと質問させてもらったが、就学前教育事業をしているので考えていないという回答だった。幼稚園等に事業を広げていくつもりはないのかお聞かせいただきたい。</p>
生涯学習課長	・核となるコーディネーターの選出が難しい状況である。市内の公立小学校12校に広めたあと、それについては考えさせていただく。生涯学習社会づくり構想の実

委員	<p>施計画が平成33年度までの期間となっており、そこを目途に幼稚園、こども園での実施ができればと考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近江八幡市の自尊感情学びの礎の事業の中で、就学前教育と小学校の低学年の困難な状況に陥っている園児への支援に取り組んでいる。 ・老蘇小学校のコミュニティスクールについて、地域と共にある学校づくりとある。市としてはどこまでこのコミュニティスクールを考えておられるのか。 ・老蘇小学校での試行は全国で2,500～2,600の指定校の中の1校か。 ・教育行政基本方針及び重点施策だが、コミュニティスクール事業の今年度の予算が昨年度より20万円減額になっている。老蘇小学校が新たに試行されたにも関わらずなぜ予算が減額されているのか。
生涯学習課長	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度から導入している老蘇小学校のコミュニティスクールについて、大きな役目としては、今まで学校長が立てていた学校経営方針を学校評議員の中で承認していたが、コミュニティスクール導入後は、参加している委員が学校長の学校経営方針について積極的に参画する制度である。 ・コミュニティスクール事業の予算につきましては、今年度予算はつけていない。 ・老蘇小学校で1年間実施し、学校、地域、保護者の皆さんが学校経営に携わっていける仕組みができれば、教育振興基本計画が見直される平成33年度の目標値でもある実施校が2校、3校と広がっていけばよいと思われる。 ・教職員に関わる人事の部分については、東京都世田谷区、京都市では導入している。近江八幡市全体に関わる部分になるので、1つの学校でのみ実施している現在では人事に関わる部分の導入は難しい。
教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティスクールは、基本的には教職員の人事権を除くすべてのことに地域で関わってもらおう。狭い教職員の世界だけで人事が行われていることも問題であると思っているので、地域の方が公平公正に教職員を見ていただくのもいいかと考える。 ・就学前の子ども達の進路は、今まで教育委員会は別組織だったが、新しい教育委員会制度では教育総合会議、教育大綱のように市長部局とも関わっていく。生まれて死ぬまで教育の中にあるので、市長部局と教育委員会が両輪となってやっていく必要がある。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・金田学区では学童が増えており、学校を放課後開放してもらえないかという話が出てきている。 ・市民からみたら学校は入りにくいところなので、入りやすい学校、行きやすい学校ができないものか。
教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・学校を放課後開放することは可能である。先生方の休みをいかに保障するかという問題がある。

委員長	3. (2) 部会設置に向けてテーマの検討について（協議）
事務局	《部会設置に向けてテーマの検討について説明》
委員長	説明について意見を求める。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・意見書等作成と例としてあがっているが、どの程度の効力があるのか。 ・決まった報告を受け、それに対して意見を求められ、意見は出す。その意見はどうなるのか。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育委員会としてこういうことをやった。社会教育、生涯学習としてこういう課題がある。これについて社会教育委員会としてこういうことをやっている、といった内容を考えている。深いことは次年度以降になると思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・安土学区まちづくり協議会文化生涯学習部での取り組みの中で、文化生涯学習部は何をどうするのか、究極何が目的か。 ・今年は子どもにウエイトを置いて、これから子育てをする人、子育て中の人をどういう風にしていくのが課題である。まちづくり協議会で公民館のように何とか講座をまちづくり協議会独自でやっていたが、公民館主事でもない者がプランしてどうなのかという思いの中、若いお父さん、お母さんが来てくれてつながる場所づくりをしようと考えママ・カフェをしている。ここに来た人にこんな事をしませんかと投げかける。人数は少ないが横のつながりが見えてきた。こういうことで育ててみようと思っている。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・核になるのは長浜市でも学校教育がひとつである。もうひとつはまちづくりセンターや公民館である。そのあたりを中心にして部会を2つ3つできればいい。核になるものを探していただいてそれを中心にしていくのがよい。
委員	<p>安土町は合併後公民館がコミュニティセンターになったが、長浜市の資料にもある生涯学習とコミュニティセンターの連携という部分で、究極の目標はよいまちづくりであって、人々が触合って、それぞれ成長し合う、というのはみんな一緒である。その中でもう少し教育的な面があるべき。各コミュニティセンターでは一生懸命にやっておられるが、もう少しこうしたらどうだろう等第三者的に見るという部分で、委員の皆さんの豊富な経験により、市内施設を検証しながら良い地域にしていきたい。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・この会議での意見をどのように活かしていくのか。意見書を作成してどこまでいくのか、作成したところでどういう風に活かされるのか。 ・先進地視察は市外まで行かなくても市内のコミュニティセンター長、まちづくり協議会の役員の方の意見を聞くだけでも視野が広がるし、直に話を聞くことから課題を見ていきたい。

委員	<p>・先日桐原小学校区内の自治会長が小学校に来られ、学校でいろんな地域のために活動・活躍をしていただいた方が、子ども達の持っている副読本に載せていただいて、そのことを子ども達が学習しているにも関わらず、地元の地域の人が活躍した人のことを知らなくなっている。先生に自治会で子どもに授業をしている感じで話をしてもらえないかと申し出があった。それに関わった教材、資料を整理して先日6月18日（日）に職員が行き、こういう資料で子ども達にこういう学習を進めています、こういう風な子ども達の意見があります、ということをお話する機会をいただいた。自治会の方が自治会の特色であるものを気にしないで生活がしている状況である。地域がもう一度学び直そうというところで、横のつながりを持ってもらっている。</p> <p>・それぞれの地域の特色、特性を学校の職員も一緒になって人と人がつながれる活動ができないか。逆に教師が地域に行かしてもらうことで、地域のみなさんが学校への支援についてもいろいろな思いを持ってもらえるのではないか。</p> <p>・部会のポイントとして「地域と学校教育のつながり」はあるとありがたい。</p>
委員長	<p>多くの意見をいただきましたので、次回の委員会で部会のテーマ、数等決定していきたい。</p>
委員長	<p>3. (3) ①社会教育関係団体等活動補助金の交付について</p>
事務局	<p>《社会教育関係団体等活動補助金の交付について説明・質疑なし》</p>
委員長	<p>4. 連絡事項について</p>
事務局	<p>《連絡事項について説明・質疑なし》</p>
	<p>5. 閉会</p>